

伊万里焼 染錦美人文大皿

令和元年12月7日(土) 令和2年1月26日(日)

大名・豪商が愛した 伊万里焼

協力／静岡花いかだの会

伊万里焼 染錦鳳凰透かし彫り沈香壺

伊万里焼 染錦窓獅子鳳凰文沈香壺

藤枝市郷土博物館・文学館

静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内) 藤枝市郷土博物館・文学館 検索

TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514 ✉ muse@city.fujieda.shizuoka.jp

【休館日】月曜日(1/13は開館・翌日休館)、年末年始(12/28～1/4) 【開館時間】午前9時～午後5時 【入館料】大人300円(団体20名以上240円)、中学生以下無料、障害者手帳等をご提示の方は無料

焼物には磁器と陶器があります。皆さんが普段使っているご飯茶碗はおもに磁器です。磁器は、現在では瀬戸物(瀬戸焼)や九谷焼、砥部焼など全国各地で生産され、比較的安価で購入できますが、江戸時代には、国産磁器は肥前地方(現在の佐賀県)の伊万里焼しかありませんでした。

伊万里焼は肥前地方で焼かれた磁器の通称であり、有田近郊の伊万里港から各地へ船積みされたことから、伊万里焼と呼ばれました。江戸時代には、大名や豪商などいわゆる富裕層の人たちのステータスシンボルとなり、宴会の器や茶道具として使用されただけでなく、ドイツやオランダ、トルコなどヨーロッパの国王や貴族が競って収集し、現在ヨーロッパのお城に残されている伊万里焼は数知れません。美しい柿右衛門様式の作品はドイツのマイセン磁器創始のきっかけになりました。

鍋島焼は、大河内(現伊万里市内)などの佐賀藩の御用窯で焼かれたものです。関ヶ原の戦いで西軍に与して敗北した佐賀藩鍋島家が、徳川將軍家から所領を安堵されたものの、隣国の熊本藩加藤家や広島藩福島家が相次いで改易になったことに危機感を抱き、家名存続のため、当時、佐賀藩しか製造できなかった磁器を献上することにし、費用と技術に糸目をつけずに一大プロジェクトとして鍋島焼を焼成し、將軍家や幕閣等に献上しました。磁器の本場・中国をしのぐほど技術力を高めた鍋島焼は、世界的にも最高級の焼物でしたが、佐賀藩の厳重な統制管理のもと生産されたため、明治維新後になるまで、鍋島焼の存在そのものが一般庶民には知られていなかったという幻の焼物でした。本展では、江戸時代に作られた伊万里焼・鍋島焼の名品を約110点紹介します。華やかでおめでたい模様が描かれた色絵・染付・青磁の皿・茶碗・猪口・壺・鉢などを展示します。なかにはヨーロッパからの里帰り品も含まれています。江戸時代に日本で唯一製造され、ヨーロッパの人々を魅了した美しい磁器の世界をぜひご鑑賞ください。



伊万里焼 染付植木鉢文鉢手大皿
(17世紀中・後期)



伊万里焼 染錦植木鉢文鉢皿
(17世紀後期—18世紀前期)



鍋島焼 色絵金彩萩文猪口(17世紀後期)



鍋島焼 色絵花束蘭文折縁小皿(17世紀後期—18世紀前期)



伊万里焼 色絵虎鮎文長皿(17世紀中・後期)

伊万里焼を学ぼう!

記念講演会 要申込み 当日までに電話・FAX・Eメールで博物館へ伊万里焼研究の第一人者が、江戸時代に珍重された伊万里焼・鍋島焼の歴史と美、鑑賞ポイントを解説します。日本が世界に誇る磁器について学んでみましょう。

【前編】伊万里焼の歴史とみどころ

令和元年12月22日(日)
午後1時30分～3時

【後編】鍋島焼の歴史とみどころ

令和2年1月12日(日)
午後1時30分～3時

【講師】 小木一良氏(伊万里焼研究の第一人者)
『伊万里の変遷』『新集成伊万里』等の著者
【会場】 文学館・講座学習室
【参加】 入館者対象 【定員】 各回60名



ギャラリートーク

長年にわたり伊万里焼を収集してきたコレクターが、展示品を実際に見ながら、伊万里焼・鍋島焼の特徴やみどころを解説します。

①令和元年12月8日(日) ②令和元年12月15日(日)
③令和2年1月11日(土) ④令和2年1月18日(土)

時間: 各日とも午後1時30分～2時30分

【講師】 静岡花いかだの会 会員
【会場】 博物館・特別展示室
【参加】 入館者対象 【定員】 各回40名 ※申込不要



新春ミュージアムコンサート

【会場】文学館・講座学習室 【参加】入館者対象
【定員】各回80名(先着順) ※申込不要

箏とフルートのしらべ

藤枝市出身で藤枝西高校時代に全国高校生邦楽コンクールで第2位を受賞した若手の生田流等奏者が、フルートと共演して、みずみずしい音楽を奏でます。

【日時】 令和2年1月5日(日)
①11時～11時45分 ②14時～14時45分
【出演】 金子昇馬(箏、藤枝市出身)
佐藤優圭(フルート)
【曲目】 春の海(宮城道雄)、
My favorite things (サウンド・オブ・ミュージックより)、
哀歌(吉崎克彦) 他



スピネットと歌うイタリア古典歌曲の楽しみ

イタリア古典歌曲をスピネット(小型のチェンバロ)の音色に乗せてお届けします。古の人々の小さくも魅力的な世界にゆっくりと耳を傾けてみましょう。

【日時】 令和2年1月26日(日)
①11時～11時45分 ②14時～14時45分
【出演】 山田美穂子(ソプラノ)
村上夢子(スピネット、ピアニスト)
【曲目】 すみれ、私を泣かせてください、
『ロンドンの音楽帳』より3つの作品 他



同時開催

藤枝出身

【文学館特別展】 故郷藤枝で初めての本格個展

村松誠イラスト原画展 —むらまつねこ・いぬ大集合!—

©MAKOTO MURAMATSU-SHOGAKUKAN

